

第8回

日本バイオベンチャー大賞

審査員特別賞

株式会社アールテック・ウエノ

設立は1989年。医薬品の製造（2製品）・販売（1製品）によって経営の財務基盤を整えた。2005年に現社長で医師でもある眞島行彦氏が慶應義塾大医学部助教授からアールテック・ウエノに転職し、創薬事業の主目的とした創薬バイオベンチャー企業となった。

開発のテーマは『臨床医の視点による新薬開発』。これまで有効な治療薬のない眼科・皮膚科疾患をターゲットに開発を行い、6つの開発パイプライン（新薬候補物質）を持っている。開発を含め事業に関する特許を300件以上保持していることが強みだ。

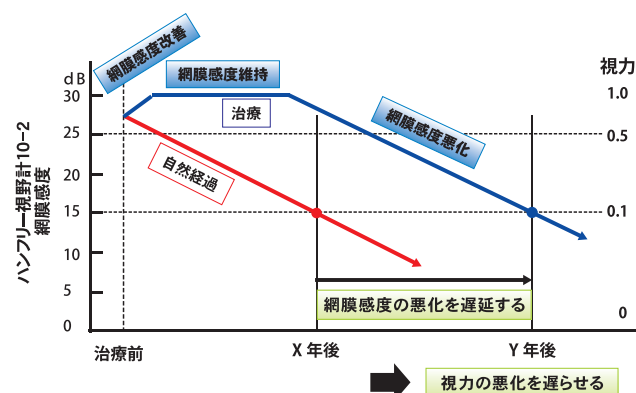
臨床医のアイデアから臨床開発が行われている新薬は2種類。難病の網膜色素変性治療薬「ウノプロストン点眼液」は国内において第3相臨床試験を、重症ドライアイ治療薬「遺伝子組換え人血清アルブミン点眼液」は米国において第1相・2相臨床試験をそれぞれ実施するよう注力している。

これら2つの治療薬は、現在有効な治療薬が確立されていない疾患（アンメットメディカルニーズ）で、数年後に新薬として承認された場合には、日本から発信する世界で初めての画期的なファーストインクラスの治療薬となる。

網膜色素変性治療薬 オキユセバTM0.15%点眼液の開発

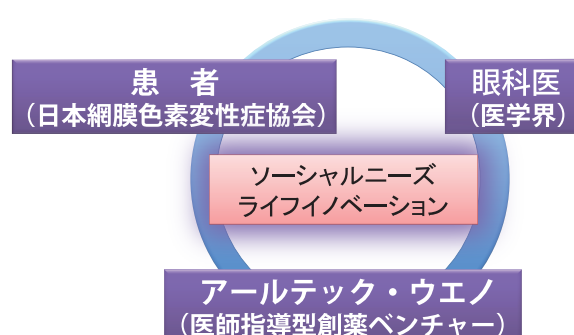
ライフイノベーション創出のコンセプト

中心部網膜感度を改善することにより、視力の悪化を遅らせる
日本発・世界初の網膜色素変性治療薬である。



網膜色素変性の治療薬の開発

- ・治療法のない難病の治療薬
- ・オーファンドラッグ（希少疾病医薬品）



会社概要 設立＝1989年9月
本社＝東京都千代田区内幸町1-1-7
NBF 日比谷ビル10階
電話 03-3596-8011
資本金＝6億5401万円
社長＝眞島行彦氏